

## 「胸部外科」特集原稿募集

2025年7月号(78巻7号)において標記のテーマの特集を行いますので奮ってご応募ください。

テーマ

# 肺気腫に対する BLVR 時代に見つめ直す LVRS

重症肺気腫に対する気管支鏡バルブ治療である気管支鏡下肺容量減量術(BLVR)が保険収載された。今後、BLVRによる肺気腫治療の恩恵を受ける症例が増加するものと思われる。

BLVRでは呼吸機能検査での症例選択に加え、側副換気の評価としてCT画像における葉間形成率90%以上、Chartis肺機能評価システム(Pulmonx社)による気管支鏡下の側副換気評価を経てバルブが留置される。BLVRを希望してもこれらのいずれかで適応とならない症例が少なからずあり、海外のデータではそういう症例が肺容量減量手術(LVRS)を希望することが多く、結果としてLVRSの手術数も増加するとされている。一方、LVRSは術後合併症の多さから本邦ではあまり多くはなされてこなかった。

そこで本特集では各施設のLVRS、BLVRの経験を持ち寄って、これからの肺容量減量術について考察する機会としたいと思う。したがって、それぞれの施設における経験の多寡にかかわらず、自分の施設で経験した肺容量減量術の手技的な工夫や使用する器材・材料の工夫、そして可能であればそのネガティブな部分なども盛り込んでいただき、できるだけ多くの施設からの報告をお願いする次第である。

『胸部外科』編集主幹 小野 稔, 千田雅之

\*

\*

\*

- **内容**：臨床と研究、臨床経験などテーマに沿ったもの
- **応募方法**：予定タイトル、著者名、施設名、ミニ抄録を400字詰原稿用紙1枚に収めて**2024年12月27日(金)**までにお送りください(**E-mailでも構いません**)。  
編集委員会で採否を決めさせていただきます、2025年1月末日までにご連絡いたします。  
なお採用論文は下記のとおりご執筆をお願いいたします。
- **原稿枚数**：400字詰原稿用紙12枚以内(英文summaryを含む)、図表6枚以内
- **原稿締切日**：2025年3月31日(月)
- **掲載号**：『胸部外科』78巻7号(2025年7月号)  
宛先：☎113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 (株)南江堂『胸部外科』編集室  
TEL：03-3811-7619 / FAX：03-3811-8660 / **E-mail**：pub-jt@nankodo.co.jp